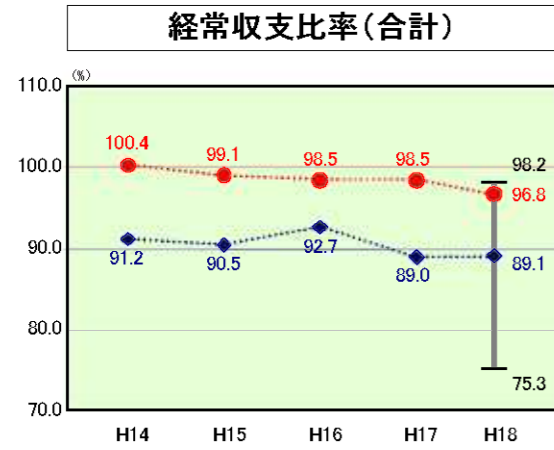


# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

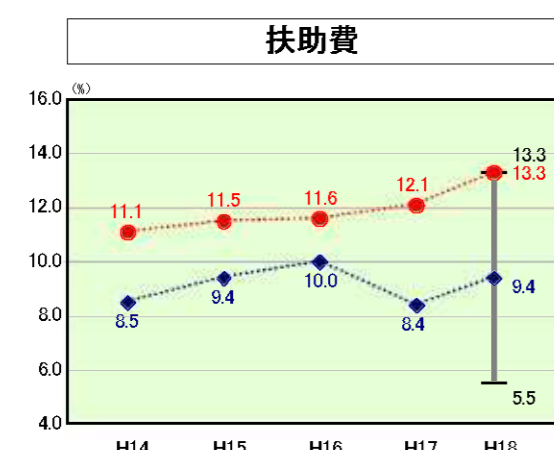
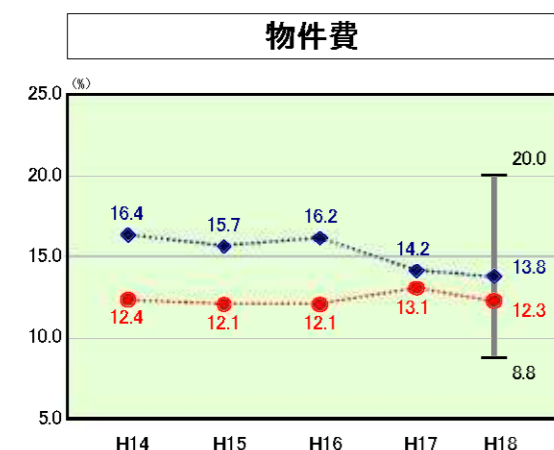
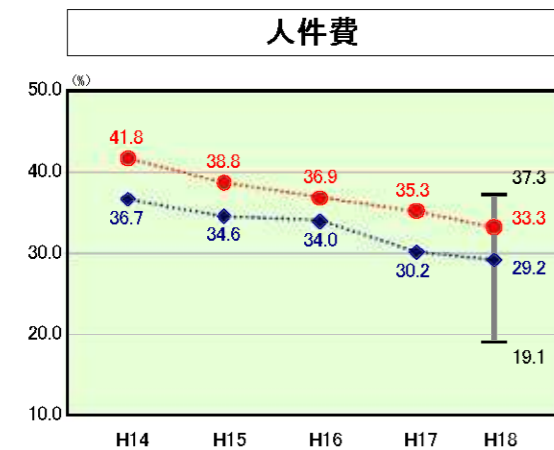
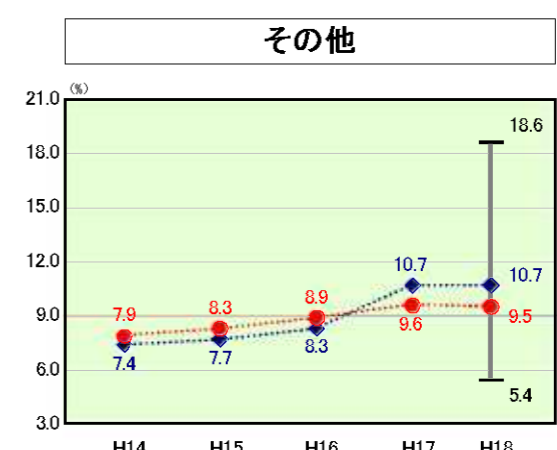
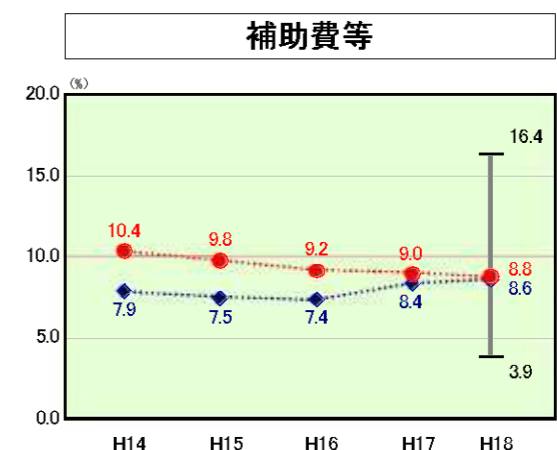
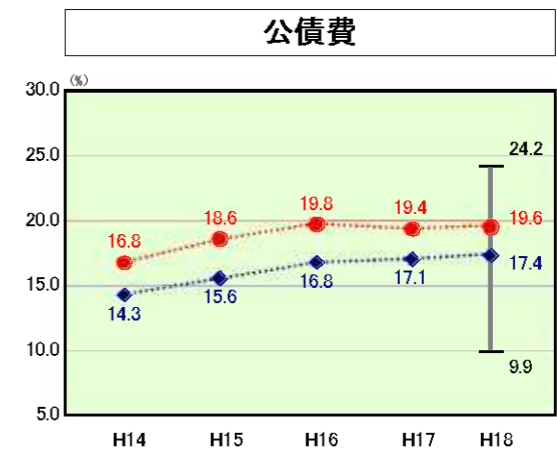
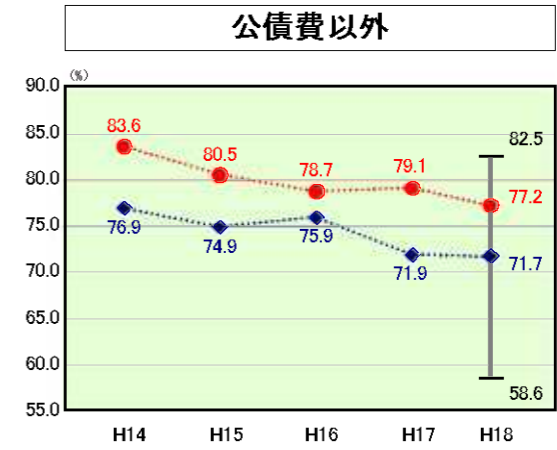
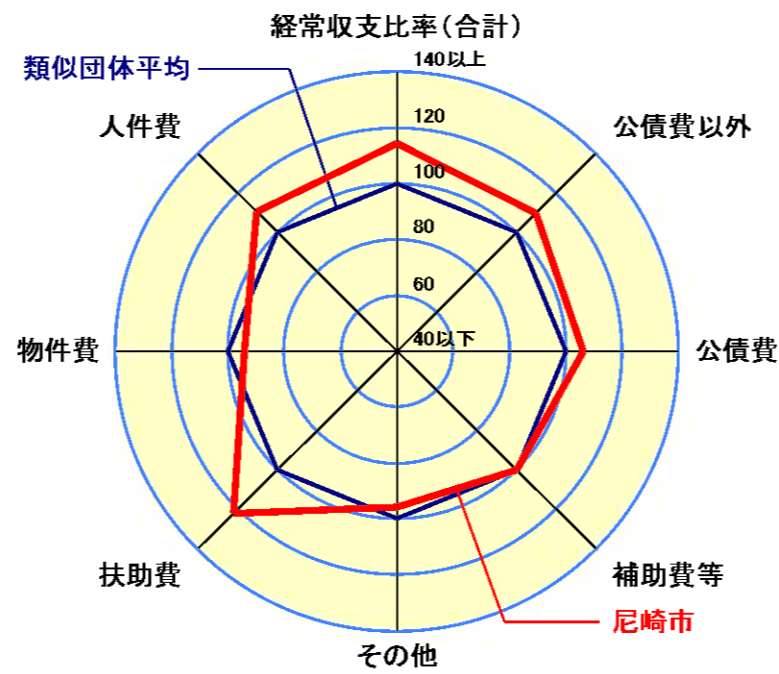
兵庫県 尼崎市

## 経常収支比率の分析



当該団体値 ●  
類似団体内平均値 ◆  
類似団体内最大値 □  
類似団体内最小値 ▽

人口 458,958 人(H19.3.31現在)  
面積 49.77 km<sup>2</sup>  
歳入総額 173,050,043 千円  
歳出総額 172,271,276 千円  
実質収支 319,497 千円



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている)  
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。  
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

- 人件費  
これまで定数削減や給与等の抑制を行ってきたが、類似団体との比較においては人件費に係る経常収支比率が4.1ポイント高くなっている。平成20年度以降については地域手当の削減措置(20~85%)をはじめ、初任給や昇格基準の見直しを行うなど、国の給与水準や本市の財政状況等を勘案する中で適正な水準の維持に努めるとともに、事務事業の見直しやアウトソーシングなどによる執行体制の見直しにより、更なる定数削減等に努めていく。
- 扶助費  
本市では類似団体と比較し、特に生活保護受給者の割合(保護率)が高いことにより、扶助費に係る経常収支比率が突出して高くなっている。少子高齢化が進展する中、国における少子化対策や高齢者医療制度などの社会保障制度改革の影響も危惧されるところである。
- 公債費  
阪神淡路大震災により多額の市債発行を余儀なくされたことなどから、公債費が増嵩しており、類似団体よりも高くなっている。今後も公債費は高い水準で推移することが見込まれることから、今後、『“あまがさき”行財政構造改革推進プラン』を推進していく中で、投資的経費を圧縮するなど、市債発行の抑制に努めつつ公債費の適正な管理を行っていく。
- 補助費等  
補助費等に係る経常収支比率が類似団体を上回っているのは、本市では雨水処理に係る経費負担分を補助金として支出しているためである。なお、企業債償還額の減少などにより、今後の補助額は減少していくものと思われる。